

会議録

会議の名称	第2回清須市総合計画審議会（専門部会）
開催日時	平成24年1月11日（水）午後1時
開催場所	市役所本庁舎 3階 小会議室
議題	1 開会 2 議事 (1) 基本構想・基本計画の見直し（案）について (2) パブリック・コメントについて 3 閉会
会議資料	会議次第 配席図 委員名簿 資料1 清須市第1次総合計画基本構想・基本計画見直し後の全体像 別紙1 基本構想（案） 別紙2 基本計画（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	福田委員、後藤委員、太田委員、渡辺委員、大竹委員、箕浦委員、牧野委員、駒津委員、櫻井委員、隅田委員、中田委員
欠席委員	—
出席者（市）	柴田企画部長
事務局	（企画政策課） 飯田課長、山口副主幹、鹿島係長、服部主査、岩田主事
会議録署名委員	後藤委員、太田委員
<p>1 開会</p> <p>●事務局（飯田課長）</p> <p>ただ今から、第2回清須市総合計画審議会を開催します。皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、牧野会長、よろしくお願ひいたします。</p> <p>2 議事</p> <p>（1）基本構想・基本計画の見直し（案）について</p> <p>●牧野会長</p> <p>年明けのお忙しい中、足をお運び頂き、ありがとうございます。本日と明日にわたり、専門部会として各分野にわたる見直しを審議いたします。本日は、7つの基本施策のうち、「2 健康で思いやりのあふれるまちづくり」、「5 歴史・伝統・文化・教育を大切にすまちづくり」、「6 創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり」を中心に審議し、最後にその他の施策について審議することといたします。</p> <p>それでは議事に入りますが、その前に、会議録署名委員の指名をしたいと思ひます。本日の会議の会議録署名委員は、後藤委員と太田委員にお願いしたいと思ひますので、</p>	

よろしくお願ひいたします。

では、議事を進めて参ります。議事（1）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち、「2 健康で思いやりのあふれるまちづくり」に関する見直し内容について、事務局から説明をお願いします。

※ 資料1「2 健康で思いやりのあふれるまちづくり」について、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。

●中田委員

自治会のブロック制の追記とありますが、雇用対策のような具体例を挙げてもらうとよく分かるが、内容がよく分からないので説明をお願いします。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●渡辺委員

病気の予防ということで、予防接種とかありますが、障害者の場合は、健康診断、特定検診が何歳以上かで受けている方もいるかもしれないが、今のところ、障害者の健康診断ということではないので、そういうことも考えて頂きたい。

それから、社会保障としての緊急雇用対策などについても、普通の方でも就職が難しい中に、障害者の方達はもっと厳しく、そちらの方の推進もよろしくお願ひしたいところです。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●後藤委員

予防接種事業の取り組みについて、具体的にいつから実施するかの見通し、それから、補助制度については完全無料なのか自己負担も含む援助であるのか伺いたい。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●櫻井委員

自主防災活動について書いてあるが、従前から自主防災組織はあったが、ブロック化に伴い、自主防災活動を組織としてしっかりせよとの要請があったわけです。本部長をはじめ代表班長、防災班長といった構成でピラミッド化されているが、これを一つのブロックの中で活用していくことは困難であると思います。いまブロック化に伴って各自治会があるわけですが、防災委員以下については、各自治会で一つの組織を持たないと、ブロック内での掌握ができないと考えを私は思っているわけです。活動を行うには経費がかかってくると、経費について深い話をしてきたが、あくまで自主的な防災組織なので、ボランティアでやって欲しいとの指導がありました。

市としては、自主防災組織を人間的にも市の中だけでは掌握できない。ということは、自主防災組織を組織して、住民同士が集まり、高齢者とか体の不自由な方に対して活躍するのが自主防災組織なので、ボランティアである、という言い方を市はしているのだが、その辺のところをどう考えているか。

ブロック化に伴って、従前からの経費も見直しをされているが、市の財政力に伴って、削減されたと私は受け止めるが、その辺も含めて考え方を伺いたい。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

廃止事業について、特に見直しの趣旨・論点の記述がないが、現行の計画に記載されていて、見直し案に記載のない事業は完了した事業という理解でよいか。また、これから廃止する予定の事業は見直し案に記載されているのか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

児童生徒に関する事業で、児童館運営・管理事業は記載があるが、放課後児童クラブについても記載すべきではないか。

●事務局（飯田課長）

※放課後児童クラブを新たに追記する旨を回答。

●中田委員

昨年、避難勧告が出ました。その時に小学校の体育館で子ども達といましたが、体育館は避難所となっていたので、若い母子達が来て、「勧告が出たので来たが、どこへ避難すれば良いか。」と質問をされていました。教職員は知らない様子でした。寝具を出すのかどうかなど、対応がわからず、そういった場合は、どういうふうに連絡をしているのか、ブロック制のボランティアの人が地域に出動して指示をするのかどうか疑問で、避難者が来ても知りませんということではなく、行政の方のきちんとした指導がなく、バラバラでは困るので、そういうことも心得て、自治会の方と話し合った方が良いと思います。

●大竹委員

防災の点で、行政も企業とのタイアップをして、行政から企業に声をかけてもらい、協定などを結んでもらえると有難い。

●牧野会長

では、議事を進めて参ります。議事（1）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち「5 歴史・伝統・文化・教育を大切にすまちづくり」に関する見直し内容について、事務局から説明をお願いします。

※ 資料1「5 歴史・伝統・文化・教育を大切にすまちづくり」について、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。

●福田委員

朝日貝塚は県の施設ですが、あそこをきちんと整備していただけると、市の財産として、観光にも良いのではないのでしょうか。県もお金がないと言っているのは知っていますが、何とかしていただけると良いが、その計画はいかがでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※県の所有する施設整備については、総合計画への記載対象外事業であることを説明。但し、朝日貝塚は貴重な地域資源でもあり、整備への要望は引続き行っている旨を回答。

●牧野会長

小・中学生の朝日貝塚の認知度について、教育委員会の報告書の中に記載されていたが、あれだけの遺跡について知らないという児童生徒が半分近くいるということに驚いた。施設の整備も重要だが、もっと地元の歴史に関心をもたせることも必要ではないかと考えます。

●箕浦委員

昨年、江の館のボランティア活動をしており、貝塚資料館のオープンについてもよく問合せを受けた。開館が不定期なため、逐次、市に照会していた。少なくとも、土日は城を見たら、資料館にも回れるといったパターンコースを作って頂きたい。

ふるさとの館の隣に石垣があるが、雑賀一族が持ってきたであろうという「雑賀」という文字や漢数字の「一」、「二」とかかれた石があり、それが今は弥富の埋蔵文化センターにあるそうです。あれは、日本に2番目に古い石垣に書かれた文字だそうですので、是非とも清須市に持ってきて、城に展示するなり、実際にここにあったということを明記して欲しい。せっかく清須市のものが、何故、弥富のセンターに埋もれてしまうのか。そうではなくて、清須のものは清須で責任を持って保管すると。そうして頂くと、例えば石垣を説明するときでも、こういうものがあると説明すると。では、どこにありますかと尋ねられ、埋蔵文化センターにありますと答えるのですが、埋蔵文化センターで見せてもらえますかと次の質問が来ます。「私達にはわかりません。本が出ているので、本で見てください。」とくらいにしか言えないことが残念です。

是非とも、すぐにはできるものではないと思いますが、一つ一つ、清須の文化は清須で守ると、そういうことをお願いしたい。

●櫻井委員

図書の貸出が、以前は行っていた場所で、現在はもうやっていないと言われたそうで、どういう経緯があるのか。また、春日に図書館を開設するというので、交通の便はどうなるのか。地域密着型の図書の貸出は、住民も喜んでいると思うが、それが突然になくなったとなると、不便に感じる方がいると思うが、その辺の考え方はどうでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※図書館については、現在の市内4箇所の図書室は廃止し、平成24年7月に夢広場はるひ内に市立図書館を開館する予定であり、西枇杷島・清洲・新川地区では貸出や返却の出来る図書のサービスポイントを設置し、市民の利便性を損なわない対応について説明。

新図書館までの交通アクセスの向上については、コミュニティバスのルート・ダイヤ改正で対応する予定である旨を回答。

●牧野会長

蔵書については、各地区に設けられるサービスポイントで検索できるのか。そうではなく、検索については図書館へ行かないと検索できないのでは不便ではないか。

●事務局（飯田課長）

※本の有無、蔵書の検索についてはサービスポイントの他、インターネットを通じてホームページ等で検索ができるようなシステム整備を予定している旨を回答。

●後藤委員

歴史資源の問題、国際交流に関する問題の2つについて申し上げたい。

一つは、石垣という非常に良いものがありながら、現物はここにはない。ということで、これは旧聞に属するが、観光に関して、前年度に愛知県が開催した「おもてなし県民会議」、産業に係る方はこの会議に参加していると思うが、この時に愛知県

知事がおっしゃったのは、「観光資源は多様化しており、気づかないところにダイヤの原石は転がっている。」と。箕浦委員の発言のように、信長に関わる色々な世に出ていないものは一杯あるのです。そういったものを、もう少し行政と民間が連携して、共同作業で掘り起こしをして、それを皆で磨き上げて、ダイヤモンドにしていくことが必要であろうかと思えます。

もう一つ、故城山三郎氏が言われていた「歴史・伝統・文化・教育を大切にしない地域はやがて廃れていく。」というように、我々は非常に良いものを持っており、そういうものをもっと掘り起こして、育てていくということを共同して努力していく必要があるかと思えます。

そういう事で、観光庁の「ビジット・ジャパン」ということで、元名古屋商工会議所会頭の岡田氏が、「文化の語源は掘り起こす、磨き上げるといったもので、人間が努力をしなければならない。」といった発言もされていました。ということで、埋もれたものを掘り出していく努力を。歴史に造詣の深い方がボランティアガイドをされている。そういう方達の力ももう少し借りてはどうかと。例えば、歴史クラブなど、造詣の深い方は沢山いらっしゃるの、知恵、力を借りる事も必要ではなかろうかと。

次に、国際交流について、A4の資料の5の2行目に、「さらに地域や国の枠組みを越えた交流の進展による人材育成」ということと、これと連動する11ページの(6)「地域間の国際交流の深耕」ということで、「市民が他地域や海外の歴史文化に触れる機会を増やし、広い視野で国際人材育成」と書いてあります。広い視野を持つ人材育成ということは、学生の頃から、そういうものを植えつけていくことが必要だと思いますし、毎年、市で行われている中学生の海外派遣というについて、近隣のそういう国際関連の予算について調べたところ、清須市が890万円、北名古屋市が友好交流事業の中学生の派遣が400万円、あま市はありません。これに対して、国際交流協会は補助金をいただいており、清須市が400万円、北名古屋市は540万円か550万円、あま市が140万円というような形で、私達、国際交流協会は、年間を通じて十数カ国の方達、特に清須、名古屋中心の社会人及び留学生を対象に交流を図ってイベントを行っておりますし、特に、外国人の参加は200名から300名の方達と交流をしております。ということで、色々タイトな予算の中で補助金を頂戴していますが、近隣都市との、そういう関連でいくと、もう少し交流の要求等について、配慮を頂きますと有難いと思えます。

それからもう一つ、清須市は中学生を海外に派遣していますが、予算は890万円で間違いはありませんか。それを確認した上で、訪問したホームステイ先について、それから、当然そういうことをした上で海外に関する知識を吸収して帰ってくると思いますが、戻ってきて、市内の皆さんに、例えば、こちらでホームステイの受入をされているのか、そういったデータがあれば教えていただければと思います。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

私も国際交流協会で活動をしているが、市から補助金を受けながら、国際交流協会に対する補助事業の記載がない。他にも、市から補助金を受けている団体は多数あるが、記載されている団体とされていない団体がある理由は何か。

●事務局（飯田課長）

※補助事業に関わらず、事業や予算規模から掲載事業の判断をしている旨を回答。

●後藤委員

国際交流協会の活動において、最近始めた活動をPRさせてください。5月から清

須市在住の外国人の日本語教育講座を開き、月3回継続しており、3カ国の方が10数回ぐらい、人数は10数名いらっしゃる。指導員は、協会会員で充当し、小学校の国語教員経験者やそういう関心のある方が教え、それだけでなく、交流をメインに行っています。

もう一つは、春日にあるトヨタ自動車整備大学校の校長からの話で、30人のブラジル出身の学生に交流を主眼とした日本語講座を指導して欲しいということで、この1月から教員経験者を派遣して、指導・交流を始めました。

●箕浦委員

私の方から、お祭りのことをお願いをしたいと思います。西枇杷島まつりに県内外から沢山いらっしゃる。2日間以外は、蔵に入っていて木材の状態です。歴史・まち散策の方からは、毎月のように「山車を見せて欲しい。」との声があるが、通常は木を組んであるだけの状態でしかない。1年間の2日以外は、折角の宝物が蔵の中で眠っているわけです。そういうものを、1年間全部でなくても、1輦でも見る体験ができるような会館があるといいと思います。

もう一つは、宿場町を案内している時に、誰が立てたか分からない高札がバラバラで立っており、位置がしっかりしたものを簡単な説明で良いので整備して頂きたい。

私が案内していた時に、「前田利家の家はどこにあったのか。」とか、「秀吉の家はどこか。」という城下町の状態について、よく質問をされた。すると、それが分かる方が現在の清須にはいらっしゃると思った。そういう方の知恵も借りて、歴史はできるだけ正しい知識により、場所を推定するなどしていきますと、戦国時代は織田信長抜きでは語れないところですので、いずれの時に、再び、歴史ドラマに登場するので、そのためにも、今のうちに時間をかけて、旧城下町の状態を追っていったら良いと思います。

●牧野会長

では、議事を進めて参ります。議事（1）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち「6 創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり」に関する見直し内容について、事務局から説明をお願いします。

※ 資料1「6 創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり」について、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。

●牧野会長

高度先端産業立地奨励事業の記載があるが、具体的には、市内にあるキンビールのバイオ関連等のことでしょうか。具体的な事業内容について伺いたい。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

美濃路にある商店街について、市として活性化のための施策を実施しているのでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

では、議事を進めて参ります。議事（１）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち、その他の施策についてご意見、ご質問等をお願いします。

議事（２）パブリック・コメントについて

●牧野会長

それでは、議事（２）パブリック・コメントについて、事務局から説明をお願いします。

※ パブリック・コメントについて、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。

●牧野会長

ご意見等がないようですので、以上で、本日本日予定されていた議事は全て終了いたしました。

最後に、特に何かございましたら、お願いいたします。

●箕浦委員

このような場所で言うのは余談かもしれませんが、去年は江の館をやって頂きました。その前は四百年事業ということで、２年連続大きな事業をやっていただき、清須市の認知度も上がってきました。折角、認知度も上がってきたので、これを落とすことのないように、これからあと４、５年と続けていくような考えはありませんか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

ご意見も出尽くしたようですので、議事については終了させていただきます。事務局から何かございますか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

それでは、これをもちまして審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

3 閉会

（ 時に午後 3 時 3 0 分 閉会 ）

問い合わせ先

企画部 企画政策課

052-400-2911 内線1221

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 牧 野 香 三

署名委員 後 藤 尚 三

署名委員 太 田 廣 史